10月16日はシルバーの日　いつもご愛顧をいただき感謝を申し上げます

10月の第３土曜日を「シルバーの日」と決定し、全国一斉にシルバー人材センターの啓発活動を行うことになりました。

横越町シルバー人材センターも地域社会に広くシルバー事業を周知するために、10月16日、各地区の支部ごとにボランティア活動を実施します。

シルバー人材センターは、こんな仕事ができます。

ぜひ、ご用命ください。

あなたの知識・技術・経験を「シルバー人材センター」で生かしませんか。

技能・技術

- 庭木の剪定
- 冬囲い
- 障子・ふすま張り
- 網戸張り
- ガラス入れ替え
- 大工軽作業
- 左官軽作業
- 塗装軽作業
- 刃物研ぎ
- 溶接軽作業

サービス

- 留守番
- 家事手伝い
- 買い物
- 動物飼育（旅行時）

事務・経理

- 一般事務
- 各種調査
- はがき宛名書き
- 賞状書き
- チラシ配布

管理

- 公共施設管理
- 民間施設管理
- 受付事務
- 施設清掃
- 駐車場管理

運転

- マイクロバス運転

講師

- カルチャー講座講師

室内軽作業

- 室内清掃
- 荷造り
- 運搬軽作業
- 工場軽作業

屋外軽作業

- 屋外清掃
- 除草作業
- 樹木消毒
- 畑の草取り
- 軽農作業

◇◆　会員募集　◆◇

働くことを通して、健康保持と生きがいの充実を図りませんか。

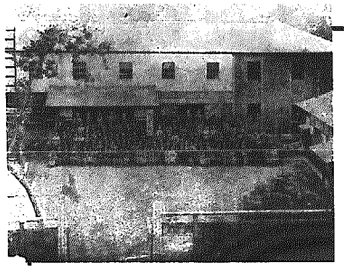
◆会　員　概ね60歳以上で、働く意欲のある方
◆手続き　シルバー人材センターの所定様式
◆会　費　年1,000円
◆仕　事　お客さまから発注のあった仕事を、会員の希望職種に応じてシルバー人材センターから連絡。支部ごとで行う作業もあります。
◆配分金　働いた仕事量に応じて支払います。
◆保　険　就業時間中にケガ等の事故があった場合、団体障害保険による補償が受けられます。

財団法人　横越町シルバー人材センター
横越町川根町２丁目20番１号
横越町勤労者福祉センター（サンウィング横越内）
☎025－385－5211　FAX025－385－5212

横越町のあんだ道を覗いてみよう

横越歴史探訪⑧

明治維新後まもなく小学校開校　教育の充実により地域発展



明治11年12月に増築落成した横越校校舎（横越小学校所蔵）

教育の始まり

横越村内の学校は、文部省の学制頒布により、明治5年、個人宅を間借りする形で横越校ができ、明治7年に第6大区第1中学区17番小学横越校と改称。翌8年には、独立した校舎を建設し、現在の小学校の基礎ができあがりました。

さらに明治5年、木津村で圓通寺を間借りする形で木津小学校が開校。その後、木津・二本木の個人宅において巡回指導が行われた後、明治13年に新校舎が完成しました。

沢海村では明治6年に大栄寺を間借りして小学校が開校、明治13年に新校舎が開校しました。

小杉村では、明治6年、大渕村（現新潟市大渕）大渕校の分教場として開設。明治10年に移転し、開校されました。

このように、横越、沢海、木津、小杉の各村々で校舎を新築するなど、早くから教育村として力を入れてきました。この4つの小学校は、地域の教育と発展、生活の中心的な役割を担ってきました。

当時の学校は、試験によって進級でき、教育内容は訓練習得が中心でした。また、女子の就学者が極めて少なかったのは全国的な傾向で、横越でも同じことが言えました。女子は家庭において重要な働き手であったためでした。

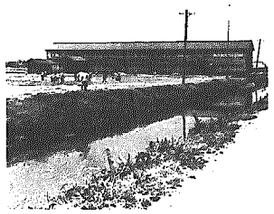
教育内容の変化

明治24年に沢海小学校と小杉小学校、翌25年に横越小学校と木津小学校がそれぞれ尋常小学校となり、修業年限4年の義務教育としてスタート。その後、これまで徴収していた授業料を無料としたことで、貧しさから学校に通うことのできなかった子どもたちも通えるようになった上、女子児童の就学率も一段と向上しました。

また、明治後期から大正期、昭和前期にかけての教育は、相次ぐ戦争によって、国家主義的な内容へと変わっていきました。第2次大戦中は、食糧増産の農作業を行ったり、体を鍛えるために体操の時間が増えたりしました。

小学校統合

終戦直後のベビーブームが去った後、村内で出生する子どもたちの数は年々減少。昭和40年代になると児童生徒数の減少が目立つようになり、村では住民や各団体、地域とたび重なる協議を行い、昭和51年4月、横越、沢海、木津、小杉の4小学校を統合して、新しい統合小学校の校舎に移り、沢海、木津、二本木、小杉の児童はスクールバスで通学するようになりました。これにより、これまで祖父母や親たちが学んだ木造校舎は姿を消しました。



竣工後まもない横越中学校北校舎（アメリカ国立公文書館所蔵）

しかし、長い教育の歩みは、厚いアルバムや資料にまとめられ、大切に保管されました。また、沢海、木津、小杉の各小学校跡は、現在は農村環境改善センター、双葉保育園、小杉地区コミュニティセンターとして、今でも地域の交流の場として利用されています。

また、昭和31年度から44年度まで、阿賀野地区には沢海小学校冬季分校が設置されていました。冬季の風雪が激しい時には、渡し船が欠航して通学不能となることがあったためでした。

戦後に開校した中学校

小学校は明治時代からあったのに対し、横越中学校ができたのは、終戦後6・3制教育が実施された昭和22年5月のことでした。（それ以前は各小学校に高等科併設）。中学校も昭和37年以降校舎を改築したのをはじめ、できたてのおいしい給食を提供する給食施設、ナイター設備のあるグラウンドなど、様々な施設が整備されていきました。

昨年3月、中学校は木の温かみがある、学習環境が整った新しい校舎に姿を変え、子どもたちは快適な学校生活を送っています。

保育園開園

かつて保育所は農繁期だけ開設されていました。公立の保育園として、昭和36年に中央保育園、昭和39年に双葉保育園、昭和41年に沢海保育園と小杉児童館を設置。しかし、沢海保育園は園児の定員割れと施設の老朽化により、平成12年3月、多くの人に惜しまれながら閉園しました。現在は町立保育園3か所と私立保育園1か所が設置されています。

多くの子どもたちが通った沢海保育園